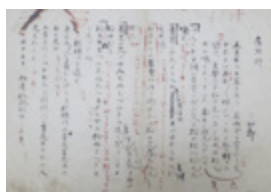




(常総市教育委員会提供)



長塚節の紀行文(常総市監理下提供)



## 長塚 節

ながつか たかし

明治12年(1879)－大正4年(1915)

農民文学『土』の作者

常総市

岡田郡国生村(常総市)生まれ。小学校卒業後、茨城県尋常中学校(水戸一高)に入学。健康すぐれず4年時に退学。明治33年(1900)、正岡子規に入門し万葉集の歌風を学ぶ。同36年(1903)、雑誌『馬酔木』の編集同人として活動。同40年(1907)、家運挽回のため炭焼きの研究と竹林の栽培等に努める。地域振興のため村青年会を発足させ、青年指導や農村振興に貢献。同41年(1908)、伊藤左千夫らと短歌雑誌『アララギ』を創刊。同43年(1910)、『土』を夏目漱石の推挙により朝日新聞に連載。その後療養生活を送りながら、大正3年(1914)から4年(1915)にかけて晩年の大作『鉦の如く』231首を詠む。

### 主な内容

- ▼ 関東地方整備局と意見交換
- ▼ 理事会で一斉休工日拡大を決議
- ▼ 建設業雇用改善へ推進集会
- ▼ フォトコンテストを行いました

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行(一般社団法人)茨城県建設業協会

☎ 310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 公共事業予算の継続確保を

## 関東地方整備局と意見交換会

本会は11月8日、国土交通省関東地方整備局や茨城県土木部との意見交換会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。本会は国に対して公共事業予算の安定的・継続的な確保を要望したほか、女性技術者の活躍についてさらなる支援策や優遇措置などを求めました。関東整備局では公共事業予算について「防災・減災、老朽化対策をはじめとする諸課題にしっかりと対応できるよう、必要な予算を確保する」と回答しました。



発注者と受注者双方の課題解決へ意見を交換しました

あいさつで関東地方整備局の石原康弘局長は、台風の被害者へお見舞いを述べ「災害のない都県はない。一日も早く復興が達成できるよう、全力で支援してまいりたい。新・担い手三法については、品確法の基本方針が閣議決定され、これから運用指針を取りまとめる。率直な意見をいただき、さらに改善していきたい」と述べました。

伊藤高県土木部長は、台風15号、19号、21号発生後の幅広い支援について国交省に感謝し、本会に対しては「厳しい現場環境の中で対応いただいていることや、土砂や廃棄物の運搬などさまざまな協力にお礼申し上げる。建設業は地域の守り手として不可欠であることを県民の皆さまに認識していただけたと思う。早期の復興へ意見交換会でさらに連携を深めてまいりたい」と述べました。

本会の石津健光会長は、台風時の災害対応について「あらためて国、県、建設業界の連携の重要性を思い知った。複数箇所での緊急対応が求められている工事については、地域の業者が一体と



石原関東地整局長



伊藤県土木部長



石津茨建協会長

なって取り組む方法を検討していく必要がある。本会では週休二日制に向け第2土曜日を一斉休工日とし、女性部会を設置するなど、働き方改革や担い手の確保・育成に取り組んでいる」と本会の取り組みを紹介しました。

その後、関東整備局が来年度予算の概算要求や総合評価の実施方針、特定技能外国人、建設キャリアアップシステムなどについて説明。

本会からは①週休二日制の導入・定着（6月から第2土曜日を休工）②生産性の向上（i-Construction関係講座の民間活用）③女性活躍推進と人材確保（建女ひばり会の設立、合同説明会）④業界イメージアップ（ホームページのリニューアル）⑤災害対応（衛星携帯電話とドローンの配備）の取り組みを報告しました。

意見交換では、本会が用意した◆公共事業予算の安定的・継続的な確保◆i-Constructionの取り組み◆概略設計◆女性技術者活躍のための取り組みのテーマに対し、関東整備局が回答する形式で行われました。

# 概略設計の精度向上

## 「女性活躍」にさらなる支援要望

### 意見交換会の内容

#### 公共事業予算の安定的・継続的な確保

##### 【茨建協】

建設業が地域の安全・安心を守るという社会的使命を果たしていくためには、公共事業予算の安定的かつ持続的な確保が必要である。来年度予算の茨城県への配分に配慮をお願いしたい。

##### 【関東整備局】

茨城県における直轄事業予算配分額は、本年度当初予算で前年度比 1.17 倍、補助事業予算配分額も前年度比 1.13 倍となっている。防災・減災、老朽化対策をはじめとする諸課題にしっかりと対応できるよう、必要な予算を確保する。

#### i-Constructionの取り組み

##### 【茨建協】

調査・設計から施工・検査、維持管理・更新までの全てのプロセスで ICT を導入する動きが着実に広がりを見せている。コンクリート工の規格の標準化など、特にプレキャストコンクリート製品の活用について、現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法の活用の推進状況は。

##### 【関東整備局】

平成 30 年度までに機械式鉄筋継手工法等のガイドライン等を策定し、プレキャストコンクリート製品および機械式鉄筋継手等についてはガイドラインに基づき、設計・施工がなされている。ガイドライン策定前に設計されたものは、機械式鉄筋継手等が採用されていないものもあるが、設計変更で対応している。

#### 概略設計

##### 【茨建協】

工事が概略設計で発注された場合、受注後に

詳細設計が引き渡されるが、施工場所の変更や数量変更、種別の追加など大きく変更される場合が多々あり、生産性向上の疎外要因となっている。工事発注前にもっと精度を向上させるように検討をお願いしたい。

##### 【関東整備局】

早期工事発注・早期完成が求められる工事において、発注時に詳細設計が未完了で詳細な仕様が未確定の場合、概略設計（標準断面）に基づき概算数量による工事発注方式等を活用している。この場合でもできる限り適切な概算数量の設定、条件明示をし、設計変更に当たっては発注者と受注者が一堂に会して審査会を開催し、妥当性の審議を行うとともに合意形成をしている。ご意見を踏まえ、工事内容や設計の精査に努める。

#### 女性技術者活躍のための取り組み

##### 【茨建協】

官民一体となって女性の入職・定着・活躍を加速すべく取り組みが行われているが、女性の入職・定着が進んでいない。新たな計画策定に着手されていると聞いているが、新計画には従来以上にハード・ソフト両面で支援策の充実・強化を図っていただきたい。

女性を積極的に活用している企業への優遇措置を検討をお願いしたい。

##### 【関東整備局】

意見聴取やアンケートを幅広く実施し、その声を新計画に反映させる。女性技術者の配置を入札参加要件とした女性技術者・若手技術者の登用を促すモデル工事を施工能力評価型の工事で実施している。

女性活躍推進法に基づく認定等（えるぼし認定企業等）をはじめとするワークライフバランス関連認定制度の認定企業は、総合評価で加点評価している。

# 新年度は第2・4土曜を一斉休工

## 理事会で決議しました

本会は11月25日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和元年度上半期に行った事業や決算が報告されました。そのほか災害時の消防活動協定を県や市町村と締結すること、協会ホームページをリニューアルすることも報告されました。また令和2年度は毎月第2土曜日と第4土曜日を県内公共工事の一斉休工日とすることを決議しました。



理事会では上半期の事業報告などが行われました

あいさつで石津健光会長は、本年の台風災害への復旧活動や支援活動に尽力した会員に対し「地域の守り手という建設業の社会的使命を果たすことができました」と、あらためて感謝を表しました。

続いて上半期を振り返り、6月から毎月第2土曜日を県内公共工事の一斉休工日としたほか、女性部会「建女ひばり会」が発足したことなどを紹介。「今後も各支部のご意見をいただきながら、協会運営を進めてまいりたい」と述べました。

議事では元年度上半期の事業および決算が報告されました。一斉休工日を設定して取り組みましたほか、茨城県土木部と意見交換を行って適正な工期設定や完全週休二日制、ICT活用促進工事などについて協議しました。7月には北関東3県建設業協会合同会議を本県で開催しました。

担い手確保に向けては女性部会「建女ひばり会」が9月に発足。そのほか各種研修会や講習会を開催し、社会貢献活動では支部対抗チャリティーゴルフ大会を行いました。



石津会長

災害時の地域貢献事業としては、台風15号によって被災した千葉県の3市町に9月15日と16日にブルーシートなどの支援物資を届けるとともに、9月24日から28日まで被災家屋のブルーシート設置などの作業を行いました。

災害時における消防活動の協定は、本年5月に常総市で発生した廃材置場火災などを踏まえ、産業廃棄物などの火災では重機を使用した消火活動が有効なため、県と本会が基本協定を結びます。今年度中には締結の見込みで、その後、各支部が県内の各市町広域消防本部と個別協定を結ぶ予定です。

本会ホームページは11月27日からリニューアル。建設業の役割や協会の活動などを的確に発信していきます。

そのほか県内公共工事の一斉休工日は、今年度は第2土曜日で実施していますが、令和2年度は第2土曜日だけでなく第4土曜日にも拡大して行います。

議事後には、台風19号によって被災した常陸太田市、常陸太田市、大子町で同協会の他支部が行った災害ごみの収集・運搬等のボランティア作業に対しまして、太田支部、常陸大宮支部、大子支部が感謝を表しました。



# 建設業の雇用改善を

令和元年度 推進集会で決議



集会では表彰などを行い、雇用改善に努めることを確認しました

本会は11月19日、令和元年度の建設雇用改善推進集會を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。集会では雇用改善に努めた企業の表彰や優秀標語表彰、講話などを行い、一層の雇用改善に努めていくことを確認しました。



石津会長

第1部の式典で石津健光会長は、大規模な自然災害が発生した際にいち早く対応し、地域住民の安全と安心な暮らしを守る地域建設業の役割や使命が高まっていることを強調。一方で将来の建設業を支える担い手の確保・育成が喫緊の課題となっていることも指摘。

これらの課題に対応するため「働き方改革の推進、雇用環境の改善、人材の確保・育成、建設現場における生産性の向上へ向け、さらなるご尽力を」と願いました。

来賓からは茨城労働局職業安定部の小川孝昭部長が「より一層の雇用改善を推進し魅力ある職場



雇用改善優良事業所を表彰しました



小川茨城労働局  
職業安定部長



前田県産業  
戦略部次長



講師の山口氏

づくりに取り組むことで、次世代を担う労働者の確保へ関係者が一体となった取り組みが重要になる」と祝辞を寄せました。

県産業戦略部の前田了次長は、県の調査で人材不足と回答した企業が多いことや県の人材確保への施策を紹介。「建設業は県のインフラ整備の基であり、災害時には一番頼りになる存在である。さらなる雇用改善への取り組みを」と望みました。

続いて建設雇用改善優良事業所表彰、雇用改善に関する優秀標語表彰、建設業退職金共済制度普及協力者表彰などを行い、受賞者を称えました。

第2部では、ニューヨーク州弁護士の山口真由氏が「岐路に立つ日本」について講話。働き方改革や女性の活用、外国人労働者の受け入れなどの日本の現状を分析し、個人を個人として尊重することが大切などと話しました。

## 受賞者（敬称略、順不同）

### 【茨城県知事表彰（建設雇用改善優良事業所）】

#### ◆（株）新井建設工業（境支部）

### 【茨城県建設業協会会長表彰（雇用改善に関する標語入選者）】

#### ◆最優秀賞＝渡辺健（常磐建設（株））「一人一人が感じる幸せ 目指そう建設業の明るい未来 皆で取り組む 雇用改善」

#### ◆優秀賞＝吉村修治（株）関根工務店）、鈴木琢磨（常総開発工業（株））

#### ◆優良賞＝軍司智美（株）関根工務店）、武笠浩二（大坂建鋼（株））、小林光一郎（株）内藤工務店）

#### ◆佳作＝石川絵梨（株）富晃）、小倉綾佳（コスモ総合建設（株））、小川拓（昭和建設（株））、富田晃司（株）梅原工務店）、霜田裕也（高塚建設工業（株））、宮本利子（株）村上工務店）

### 【勤労者退職金共済機構理事長表彰（建設業退職金共済制度普及協力者）】

#### ◆（株）浅川建設（常陸大宮支部）、小若建設（株）（潮来支部）

# バイパス改良工で現場見学会

小学生・高校生に  
建設業PR



締固め機を体験

本会は、国土交通省常総国道事務所と協力した工事現場の見学会を11月5日と11月11日に開催。キムラ工業(株)（竜ヶ崎支部）が施工している国道6号牛久土浦バイパス改良工事の現場を見学してもらい、建設業の魅力をPRしました。

5日の見学会には牛久市立牛久小学校の5年生70人が参加。高所作業車の試乗、現場写真撮影、モルタルキーホルダー作り、振動騒音計や高圧洗



ICT重機の取り扱いを説明

浄機などの建設機械を体験してもらいました。

11日の見学会は茨城県立土浦工業高校の1年生約40人が参加。転圧ローラーの説明、高所作業車の試乗、展望台からの見学などを行い、ICT施工の改良工の現場を体感してもらいました。

同社の木村保幸専務取締役は「見学会で見て学んだことを生かし、ぜひ建設業界にチャレンジする人が増えてほしい」と期待を寄せました。

## 優れた作品を表彰

### 建設フォトコンテスト

本会と建設未来協議会では、いばらき建設フォトコンテストの表彰作品を決定しました。全国から845点の応募があり、最優秀賞は「建設のある茨城の風景」部門では志賀善之さんの「雲上バイパス」、「人建設のつながり」部門では小川真理子さんの「広がる小さな世界」。

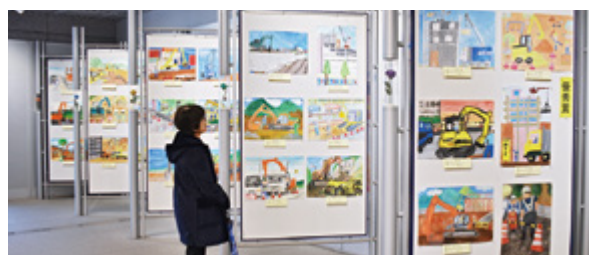
優秀作品は本会の令和2年のカレンダーにも掲載します。



「建設のある茨城の風景」部門  
最優秀賞  
「雲上バイパス」(志賀善之氏)

## 小中学生の建設現場図画

### 優秀作を県庁2階に展示



本会は、小中学生が描いた建設現場の図画作品を募集し、優秀作品を表彰しています。優秀作品は茨城県庁2階の県民情報センター県政広報コーナーに展示しています（来年1月6日まで）。

作品は県内の小学校60校636点、中学校17校138点の応募がありました。展示を見た方からは「毎年楽しみに見に来ています。迫力が伝わり素晴らしい」との声が寄せられました。



## 働き方改革など研修

### 経営企画委員会



本会の経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）が11月11日に開かれ、研修会の運営等について話し合いました。

また建設業の働き方改革について研修。女性や高齢者などを含めた生産性向上のポイントを学びました。さらに建設業の税制について研修を行いました。

### 水戸支部 活動報告

## 災害時の 現場対応研修



水戸支部（尾曾正人支部長）では、建築講習会を11月6日に水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。現場で災害に起きた際の対処法について研修しました。研修では現場での災害時の対応を「作業所への連絡」や「作業所での対応」などの段階に分けて確認。重大災害が発生した場合の事業者責任について学びました。

### 竜ヶ崎支部 活動報告

## ICTなどで 意見交換



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は10月24日、茨城県竜ヶ崎工事事務所との意見交換会を同事務所で開催しました。ICT土工の3次元出来形管理、とりおり発注の参加資料、占有物件、コンクリート工事の水セメント比指定による設計価格の差などについて活発に意見交換を行い、適正施工へ理解を深めました。

### 常総支部 活動報告

## 適正施工へ 意見交換



常総支部（中川原勇支部長）は10月29日、県常総工事事務所との意見交換会を同支部会館で開催しました。設計変更に伴う工期延長をはじめ、総合評価入札の要求施工実績の緩和、現場代理人の負担軽減、工事発注の平準化などについて協議。支部からは設計段階での現地調査や仮設工などの検討、現場に合わせた交通誘導員の配置などを求めました。

## 復旧工事を無事故で！ 労働局から要請がありました



細江労働基準部長（左）から緊急要請書を受け取りました

これから台風19号による災害復旧工事が本格化することを踏まえ、茨城労働局より災害復旧工事における労働災害防止対策の徹底の緊急要請がありました。無事故・無災害を進めていきましょう。

## 年末年始を無事故で！



## 会員の動向

〈代表者変更〉

▽潮来支部  
森新建設(株)  
竹村 操 → 森 貴敬

## 毎月第2土曜は一斉休工 第2弾ポスター活用を



## 新春賀詞交歓会のご案内

日時 令和2年1月10日(金) 午前11時30分開会  
場所 水戸京成ホテル2階 「瑠璃の間」  
(水戸市三の丸1-4-73 TEL029-226-3111)  
主催 (一社)茨城県建設業協会  
(一財)茨城県建設技術管理センター  
茨城県建設業協同組合

## ちよつと言



今年も師走となりました。働き方改革が言われていますが、皆さんの職場はいかがでしょう。日々忙しくても、年末年始ぐらいいゆっくりしたいですね。本年も大変にお世話になりました。明年も、よろしくお願い申し上げます。(K)